

お話を聞きしたのは

公益財団法人
倉敷市スポーツ振興事業団

理事長

まつばら しんいち
松原 信一 さん(右)

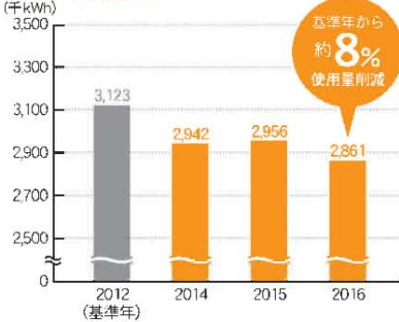
施設管理部門主任

わりむね まさよし
森宗 昌義 さん(左)



16施設が一丸となり
改善を積み重ね、
アイデアを共有
環境負荷の低減を進め
市民の活動に還元

▶電力使用量



▶都市ガス使用量



—エコアクション21に
取り組まれたきっかけは？

公共施設の指定管理者は、市の外郭団体や一般企業ほかさまざまな団体から選定されます。公益財団法人として環境負荷の低減を進め、省エネの取り組みによる指定管理料の削減を目的として、取り組み手順がルール化され分かりやすいエコアクション21(以下E A 21)の取り組みをスタートさせました。

—具体的にどのような活動を
されていますか？

代表的なものは照明の省エネ化です。LEDやセラミックメタルハライドランプ(※)への移行により、消費電力だけでなく交換頻度や高所作業が削減でき、照度も上がりました。トイレには点灯・消灯のセンサーを導入し、このような省エネの取り組みは、市民の皆様にも利用時に実感していただくことができ、大変有意義だと考えています。

削減できた費用は、施設のメンテナンスや新設備の導入などに充てています。市民の皆様にご喜ばれる施設の運営を行うことで、より多くの方に施設を利用していただけたと考えています。

—16もの施設がありますが、
どのように管理をされていますか？

E A 21に取り組み始めてから、毎月各施設の所長を集めて環境推進委員会を実施し、エネルギー消費などの状況報告・確認をしています。月に1回各施設の実績数値を把握し、各施設の節電意識を高めています。使用量の変動要因を追及して行く中で、機器の老化や故障が見つかることもありました。

また、職員からの改善提案は積極的に採用共有しています。例えば、閉館後に温水プールを保温シートで覆い水温の低下を塞ぐというアイデアは、現場をよく知る職員からの提案です。ポイラーの間欠運転なども組み合わせることで、ガス使用量の削減に繋がりました。



管理施設の一つ、倉敷運動公園では管理日誌を使って点灯・消灯状況を共有し切り忘れ防止を徹底。

—今後E A 21に取り組む団体に
メッセージを。

サービスマン等の場合は、省エネの取り組みが顧客満足度の低下に

なると思われがちです。しかし、省エネによるコスト削減は利用者・顧客への還元につながり、また取り組みを知っていただくことで満足度を上げることが出来ます。公共施設などでもE A 21の活用をお勧めします。



取り組みが評価され、倉敷市市長部局省エネ大賞を受賞しました。

公益財団法人 倉敷市スポーツ振興事業団

所在地 〒710-0835 倉敷市四十瀬4
従業員数 139名 認証・登録日 2015年1月6日

市営体育施設・都市公園緑地管理全般、スポーツ振興事業の立案・実施をしています。

エコアクション21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証登録する制度です。エコアクション21



エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp

※セラミックメタルハライドランプ…発光管にセラミックを使用したランプ。水銀ランプと比較して消費電力が少なく、照度が高い点が特徴。